

草の根技術協力（草の根パートナー型）事業概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	パラグアイ共和国
2. 事業名	パラグアイ酪農の持続可能な発展をめざすネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	多くの酪農家の経験が浅いため、家畜飼養・衛生管理・繁殖管理等に関する適切な知識・技術を有しておらず、農協獣医師の指導に全て依存せざる得ない状況であった。他方、農協獣医師を取り巻く環境についても多くの課題を残していることがわかった。そこで「東端畑作地域・酪農技術向上支援」、「東部地域・酪農振興のための農業研修拠点の形成と人材育成支援」のプロジェクトを実施した。この二つのプロジェクトを通じて、搾乳技術、栄養管理技術、飼育管理技術、繁殖管理技術などが向上しただけでなく、農協獣医師の酪農家への指導力が向上し、一定の成果を得た。しかしこれらのプロジェクトを通じて、同国の歴史的背景や習慣などが相重なって（Ⅰ）知識・経験の共有がされない、（Ⅱ）記録（データ）の重要性についての意識の欠如、（Ⅲ）農協獣医師の脆弱な体制等の課題が残っていることが判明した。このため、パラグアイ生産者組合連盟（FECOPROD）の酪農情報システムを活用するとともに、これまでのプロジェクトの知見・経験が蓄積された日系セタパール財団のデモンストレーション農場を利用し、農協獣医師間のネットワークを強化し、知識・経験を共有することで酪農家支援体制が構築されることが期待される。
4. プロジェクト目標	農協獣医師によるパラグアイ生産者組合連盟（FECOPROD）の酪農情報を活用した農協獣医師による酪農家支援体制が強化される
5. 対象地域	パラグアイ共和国南東部地域
6. 対象地域を管轄する在外公館	在パラグアイ共和国日本大使館
7. 受益者層（ターゲットグループ）	直接受益者：対象地域のパラグアイ生産者組合連盟（FECOPROD）傘下の農協獣医師（12～15名）およびモデル酪農家（約24農家） 間接受益者：FECOPROD加盟酪農家、農牧省の酪農家支援プロジェクト対象農家
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> FECOPRODの酪農情報システム（SISCOLE）が強化される。 農協獣医師が科学的に示された酪農情報システム（SISCOLE）の記録（データ）に基づいた酪農・経営指導ができるようになる。 FECOPRODを中心に酪農情報ネットワーク共有体制が構築される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> FECOPRODの酪農情報システム調査・活用、マニュアル作成、講習会の開催、マニュアルの検証、改訂、提言。 農協獣医師、モデル酪農家の条件策定・募集・選定およびデータ分析指導および実践指導。 農協獣医師データベースの作成。農協獣医師向けの窓口設置・運用・蓄積。酪農家向けQ&Aのフォーマット作成・運用・蓄積。農協獣医師間の合同や政府機関との会議での報告など。
9. 実施期間	（西暦） 2022年3月～2026年4月（4年2月）
10. 事業費概算額	99,989千円
11. 実施体制	日本側実施団体：国立大学法人北海道国立大学機構（帯広畜産大学） パラグアイ実施団体：パラグアイ生産者組合連盟（FECOPROD）、 日系セタパール財団（CETAPAR）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人北海道国立大学機構（帯広畜産大学）
2. 活動内容	「食を支え、暮らしを守る人材の育成を通じて地域及び国際社会に貢献すること」をミッションに掲げ、農学、畜産科学、獣医学に関する教育研究を推進する、我が国唯一の国立農学系単科大学である。